

I 法人の概要

1 設立年月日

平成4年3月24日 財団法人として発足
平成26年4月1日 公益財団法人へ移行

2 定款に定める目的

この法人は、わが国におけるボールルームダンス及びボールルームダンス技術の発展と普及を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

※事業

- (1) 普及、啓蒙及び指導
- (2) 競技会の実施、公認及び認定並びに競技規則の制定
- (3) 指導者の資格認定
- (4) 競技の審査員の資格認定
- (5) 研修会、講習会の開催
- (6) 国際組織への加盟並びに国際的競技会等への選手・役員等の派遣
- (7) 技術研究、開発及び競技選手の育成、指導
- (8) 調査、資料収集
- (9) 教室の健全な育成、指導及び助言
- (10) 競技等に関する施設の設置及び運営
- (11) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

※その他の事業

- (1) ボールルームダンス技術書、音楽著作物等の刊行
- (2) ボールルームダンス用品等の販売
- (3) その他関連事業

4 所管官庁に関する事項

内閣府大臣官房公益法人行政担当室

5 会員の状況

| | |
|------|--------|
| 正会員 | 1754名 |
| 登録会員 | 9894名 |
| 認定会員 | 610名 |
| 合計 | 12258名 |

6 主たる事務所

主たる事務所 : 東京都中央区日本橋浜町 2 丁目 33 番 4 号 日本ダンス会館

7 役員に関する事項

| | | | |
|---------|-------|-----|---------------------|
| 会長理事 | 安西 孝之 | 非常勤 | (公財) 日本体育協会最高顧問 |
| 副会長理事 | 田邊 重光 | 非常勤 | 田邊工業(株)代表取締役会長 |
| 副会長理事 | 西坂 範之 | 非常勤 | 西坂スミダダンススクール |
| 副会長理事 | 桜本 和夫 | 非常勤 | 桜本ソシアルダンスアカデミー |
| 専務理事(兼) | 西坂 範之 | 非常勤 | 西坂スミダダンススクール |
| 常務理事 | 遠藤 利男 | 非常勤 | (公財) 日本余暇文化振興会会長 |
| 常務理事 | 笠原 一也 | 非常勤 | 日本体育・スポーツ政策学会会長 |
| 常務理事 | 板清 親雄 | 非常勤 | タグチソシアルダンススクール |
| 常務理事 | 浅野 勉 | 非常勤 | アサノダンススクール |
| 常務理事 | 内田 芳昭 | 非常勤 | 国分寺ウチダダンススクール |
| 理事 | 玉利 斎 | 非常勤 | (公財) 日本健康スポーツ連盟理事長 |
| 理事 | 大山 綱明 | 非常勤 | (公財) 日本関税協会理事長 |
| 理事 | 佐伯 聰夫 | 非常勤 | (財) 日本ウエルネススポーツ大学教授 |
| 理事 | 久米 邦貞 | 非常勤 | 日壇協会会長 (久米美術館館長) |
| 理事 | 田中 一昭 | 非常勤 | 拓殖大学名誉教授 |
| 理事 | 中村 優子 | 非常勤 | (公財) 吉田秀雄記念事業財団 |
| 理事 | 佐藤 伴幸 | 非常勤 | 佐藤伴幸ダンススクール |
| 理事 | 石原 久 | 非常勤 | 石原ヒサシダンススクール |
| 理事 | 小久保 浩 | 非常勤 | コクボダンススクール |
| 理事 | 鳥居 洋子 | 非常勤 | 鳥居ダンススクール |
| 理事 | 青木 信之 | 非常勤 | 長崎ダンスアカデミー |
| 監事 | 横溝 大門 | 非常勤 | 横溝大門公認会計士事務所 |
| 監事 | 貝田 紀男 | 非常勤 | ダンススタジオゼロヨツモト |
| 監事 | 坂本 忠 | 非常勤 | 沢田ダンススクール |

(平成 26 年 4 月 1 日)

8 職員に関する事項

| | 職員数 | 男性 | 女性 |
|-------|-----|------|------|
| 事務局職員 | 17名 | (8名) | (9名) |

9 役員会等に関する事項

| | 開催年月日 | 議事事項 |
|------|------------|---|
| 理事会 | 平成25年6月10日 | 1. 平成24年度事業報告(案) 2. 平成24年度収支決算(案) 3. 公益申請に関して |
| | 平成25年9月9日 | 1. 公益認定申請手続承認 2. その他 |
| | 平成26年3月3日 | 1. 平成26年度事業計画(案) 2. 平成26年度収支予算(案) 3. 役員改選の件他 |
| 評議員会 | 平成25年6月10日 | 1. 平成24年度事業報告(案) 2. 平成24年度収支決算(案) 3. 公益申請に関して |
| | 平成25年9月9日 | 1. 日体協加盟に関して 2. 採点管理システムに関して 3. ダンスサミットに関して |
| | 平成26年3月3日 | 1. 平成26年度事業計画(案) 2. 平成26年度収支予算(案) 3. 他団体からの復帰に関して |

10 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状況 (単位:百万円)

| | 平成23年度 | 平成24年度 |
|----------|--------|--------|
| 前期繰越収支差額 | 41 | 46 |
| 当期収入合計 | 332 | 411 |
| 当期支出合計 | 327 | 408 |
| 当期収支差額 | 5 | 3 |
| 次期繰越収支差額 | 46 | 49 |
| 資産合計 | 397 | 390 |
| 負債合計 | 63 | 54 |
| 正味財産 | 334 | 336 |

1 1 法人の課題

※本連盟は平成26年4月1日より公益財団法人として新たにスタートをきりました。新法人のもとでコンプライアンスの遵守を厳格とし、今回、組織変更に伴い採用した加盟団体制度のもとで、傘下の広域、都府県等の加盟団体に対しても自覚を促し、同様にコンプライアンスの遵守と、ガバナンスの改善を図り一体となり進んでいくことが必要である。

【公益目的事業】

第1. 普及・啓発に関する活動

1 (JBDF初めての) ボールルームダンス(社交ダンス) 指導者養成講習会

- (1) 目的 学校教育、社会教育の場並びに学社連携の教育の場において、全国の多くの児童・生徒がボールルームダンス(社交ダンス)の特徴である音楽と運動の両面から「創造できる楽しさと踊りの深まり」や「人とのかかわりの調和」等の学びの体験を通じて、生涯にわたって運動に親しむとともに豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育て、健やかな心身を育むことを目的に、学校、地域でのボールルームダンス指導の実践に役立つ実技と指導法を講習し、裾野を拡げる指導者の養成を図る。
- (2) 後援 文部科学省、北海道、山形県教育委員会、中央区教育委員会、石川県教育委員会、大阪府教育委員会、福岡県教育委員会
- (3) 対象 全国の幼・小・中・高等学校教諭、特別支援学校教諭等並びにボールルームダンスの指導に関心のある一般の大人。
- (4) 募集方法 文部科学省ホームページ、都道府県教育委員会、学校関係教諭、本法人ホームページ・機関誌、ダンス関係雑誌、開催地並びに近隣の小・中・高等学校へ開催要項を送付して募集を行う。
- (5) 開催地区・開催地・講習の期間・開催会場・担当講師・参加者数

| 開催地区 | 開催地 | 期 | 講習期間 | 開催会場 | 担当講師 | 参加者数 | | | |
|-------|--------|-----|---------------------------|-----------------|---------------------------------------|---------|------|----|----|
| | | | | | | 教員免許更新者 | 学校教員 | 一般 | 合計 |
| 北海道地区 | 北海道札幌市 | 第1期 | 2013年7月31日 (水)～8月1日(木) | タカダンス栗 林スタジオ | 講義 佐伯年詩雄 実技 堀口 宏 村田恭子 清水博文 | 10 | 3 | 8 | 21 |
| | | 第2期 | 2013年11月9日 (土)～10日(日) | | 講義 笠原一也 実技 堀口さと子 島 輝子 清水博文 | 10 | 3 | 8 | 21 |
| 東北地区 | 山形県天童市 | 第1期 | 2013年8月19日 (月)～20日(火) | 山形県総合 運動公園 | 講義 笠原一也 実技 松村有希子 堀口さと子 後藤 重幸 | 12 | 3 | 16 | 31 |
| | 山形県山形市 | 第2期 | 2013年10月5日 (土)～6日(日) | ヒルズサン ピア山形 | 講義 佐伯年詩雄 実技 堀口 宏 大島 寿子 後藤 重幸 | 12 | 4 | 18 | 34 |

| | | | | | | | | | |
|------------------|---------|-----|---------------------------|------------------|---|------------|-----------|------------|------------|
| 関東地区 | 東京都中央区 | 第1期 | 2013年8月4日 (日)～5日(月) | 中央区立総合スポーツセンター | 講義 笠原 一也 実技 松村有希子 堀口 宏 大島 寿子 菅原 まゆ | 21 | 10 | 16 | 47 |
| | | 第2期 | 2013年11月2日 (土)～3日(日) | | 講義 佐伯年詩雄 実技 松村有希子 堀口さと子 村田 恭子 菅原 まゆ | 20 | 3 | 15 | 38 |
| 東海・北陸地区 | 三重県津市 | 第1期 | 2013年8月22日 (木)～23日(金) | アストプラザ アストホール | 講義 佐伯年詩雄 実技 石塚 紀子 島 輝子 廣田真千子 | 9 | 5 | 14 | 28 |
| 東海・北陸地区 | 三重県津市 | 第2期 | 2013年10月12日 (土)～13日(日) | 三重県総合文化センター | 講義 笠原 一也 実技 堀口 宏 村田 恭子 廣田真千子 | 9 | 6 | 15 | 30 |
| 近畿・中国・四国地区 | 大阪府大阪市 | 第1期 | 2013年8月26日 (月)～27日(火) | ホテルメトロ The21 | 講義 笠原 一也 実技 松村有希子 島 輝子 堀口さと子 山本 陽子 | 35 | 5 | 3 | 43 |
| | 大阪府池田市 | 第2期 | 2013年10月26日 (土)～27日(日) | 五月山体育館 | 講義 佐伯年詩雄 実技 堀口 宏 大島 寿子 山本 陽子 菊地 隆文 | 34 | 1 | 4 | 39 |
| 九州・沖縄地区 | 福岡県久留米市 | 第1期 | 2013年8月8日 (木)～9日(金) | 久留米市民会館 | 講義 佐伯年詩雄 実技 堀口 宏 石塚 紀子 伊藤 弘美 | 10 | 3 | 2 | 15 |
| | | 第2期 | 2013年9月7日 (土)～8日(日) | | 講義 笠原 一也 実技 堀口さと子 島 輝子 伊藤 弘美 | 10 | 3 | 2 | 15 |
| (定員 180人) | | | | | | 192 | 49 | 121 | 362 |

(6) 内容

- ア 講義主題 「生涯スポーツと学校体育そしてダンス」、「これからの学校学習とボールルームダンス」

- イ 実技指導 「ダンス技術と指導法」、「模擬授業指導法」、「学習のまとめとしての発表会」、「ダンスパーティー指導法」、「実技試験」

(7) 特記事項

- ア 文部科学省「教員免許状更新講習」に認定されて開催する講習会で、今年で5年目となる。
- イ 本講習会は教員免許状更新講習として受講できる教諭は、平成25年3月31日及び平成26年3月31日を最初の修了確認期限とする小学校教諭、中学校・高等学校の保健体育教諭で講習受講により履修認定を受けた場合に免許状更新講習（選択領域18時間以上）の履修証明書を交付する。
- ウ 「totoスポーツ振興くじ助成事業」の助成を受けて実施した。

(8) 実施後の成果

- ア 主たる対象を学校教諭としているので、学校学習への導入の機運が拡がり普及・啓発につながった。
- イ 参加した教諭に、ボールルームダンスの楽しさ、児童・生徒の人との係わりや健やかな体と豊かな心の育むなどの教育的効果を理解させることができた。
- ウ 学校教諭が生涯スポーツとして取り組む機運につながった。

(9) 今後の課題

- ア 本講習会に参加した教諭に対し、アフターケアの一環として本法人の指導者資格の付与について検討する必要がある。

(10) 平成25年度「教員免許状更新講習」の文部科学大臣の認定通知文（写）

24文科初第1312号

財団法人日本ボールルームダンス連盟

貴法人から申請のあった免許状更新講習について、別紙のとおり認定し、通知する。

なお、当該講習の開設に当たっては、免許状更新講習規則及び平成20年文部科学省告示第50号の規定に留意の上、遺漏のないよう実施するとともに、当該講習の終了後、その運営状況、効果等について評価を行い、当該評価結果について報告すること。

平成25年3月18日

文 部 科 学 大 臣

下 村 博 文



2 学校学習委員会事業

- (1) 目 的 平成13年9月「21世紀におけるボールルーム文化の構築と振興のあり方について」の答申からの抜粋で「小・中・高の体育科授業においては勿論のこと、学校行事や課外活動などにおいても、ボールルームダンスの基礎的な学習を積極的に採りあげ、推進していくことが望まれる。そして、学習内容や指導方法の開発、その実践などは、担当教諭のみが担うのではなく、その要請に応じて、ボールルームダンス関係者の積極的な支援と活用が望まれ、それを可能にするシステムの構築が求められる」ことを具現化する。
- また、新学習指導要領により、平成24年4月から、中学校の体育の授業で「ダンスと武道」が男女ともに必修になっているとともに、平成21年度から文部科学省が実施している「教員免許状更新講習」の認定を受けて、「JBDF はじめてのボールルームダンス（社交ダンス）指導者養成講習会」を実施している。
- このような状況下において、教育委員会や学校からの支援要請がある場合に、いつでも対応できる体制を整備することを目的とする。

(2) 実施・運営

財団法人日本ボールルームダンス連盟ブロック及びブロック内の都道府県支局
学校学習創造支援プロジェクト担当責任者が連携・協力して実施する。

- (3) 対 象 財団法人日本ボールルームダンス連盟の正会員及び登録会員のプロインス
トラクターとする。

《JBDF 九州ブロック学校学習支援プロ指導者講習会》

[第1クール「後期」：第3回]

ア 参加対象

九州ブロックの各県（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島
島県）

支局に所属する学校学習に強い関心を持つプロのボールルームダンスの教
師

イ 日 時 平成25年7月7日（日）9：30～17：30

ウ 参加数 86人

エ 会 場 ダンススクールライジングスター

オ 内 容

(ア) 講 義 「生涯スポーツと学校体育そしてダンス」

講師 笠原一也（日本体育・スポーツ政策学会会長、JBDF常
務理事）

(イ) 実 技 「チャチャチャ、スロー・リズムダンス、ジルバ、ワルツの種 目
及び模擬授業指導法」

講師 堀口 宏（学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長）

[第2クール「前期」：第1回]

ア 参加対象

九州ブロックの各県（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島
島県）

支局に所属する学校学習に強い関心を持つプロのボールルームダンスの教師

イ 日 時 平成26年2月2日（日）9：30～17：30

ウ 参加数 15人

エ 会 場 ダンススクールライジングスター

オ 内 容

(ア) 講 義 「これからの学校学習とボールルームダンス」

講師 佐伯年詩雄（日本ウエルネススポーツ大学教授、JBDF理
事）

(イ) 実 技 「チャチャチャ、スローリズムダンス、ジルバ、ワルツ、クイック
リズム、ダンス、タンゴ、ルンバ、サンバの指導法」

講師 堀口 宏（学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長）

(5) 実施後の成果

ア 講習修了者には「学校学習支援プロ指導者修了証明証」を交付し、都道府県教育
委員会の「スポーツリーダーバンク」等に登録することができた。

イ 講習修了者は、学校学習に関心のある者なので、地域における学校への普及・啓

- 発に理解が深められ、その取り組みが促進される。
- ウ ボールルームダンスの学校での指導法が全国的に統一される。

3 行政・学校・団体・産業界等との連携・協力事業

- (1) 目的 学校教諭、児童・生徒並びに一般を対象に、ボールルームダンスを生涯スポーツとして体験してもらうため、機関、学校等と連携を図り、ボールルームダンスの普及・啓発に努める。
- (2) 講師 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員
- (3) 対象 全国の学校教諭、児童・生徒並びに社会人
- (4) 開催期日 平成25年4月1日(月)～平成26年3月31日(月)

《学校との連携・協力》

ア 豊島区立巣鴨小学校

- (ア) 研修会名 体育部事前研究会(表現運動領域部会)
- (イ) 目的 児童・生徒の表現運動の指導案を作成する。
- (ウ) 日時 平成25年8月2日(金) 13:00～16:45
- (エ) 場所 豊島区立巣鴨小学校
- (オ) 研修内容 サンバの指導
- (カ) 講師 村田恭子(学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)
- (キ) 期待される成果 ①体験を通して、ボールルームダンスの指導案が作成できる。
②学校教育への導入の促進につながる。

イ 岐阜県御嵩町立上之郷中学校

- (ア) 目的 岐阜県支局が要請された体育授業で、本物に触れることで新しい教材に興味、関心を持たせることを目的とする。
- (イ) 日時 平成25年10月28日(月) 10:25～12:25
平成25年11月13日(水) 10:25～12:25
- (ウ) 場所 御嵩町立上之郷中学校
- (エ) 授業時間数及び内容
10時間(チャチャチャ4時間、ワルツ4時間、発表会の準備と練習1時間
間発表会1時間)
- (オ) 指導対象 御嵩町立上之郷中学校の全校生徒(1年:17人、2年:12人、3年:10人)
- (カ) 研修内容 チャチャチャとワルツの指導
- (キ) 講師 堀口 宏(学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)
秋田祈雄(中部総局学校学習プロジェクト委員会委員長)
岩本吉夫(岐阜県支局長・岐阜県学校学習プロジェクト委員会委員)
- (ク) 期待される成果 ①学校での学習教材としての適性が明確となる。
②学校教育への導入の促進につながる。
③プロ対象の学校学習支援講習会の成果が生きてくる。

《産業界との連携・協力》

ア 新社会人研修村

(ア) 目的 平成 26 年度の新入社員の研修を行う企業に対し、企業が独自で行う社員研修の他に、プログラムサービスとして、教養や資質の向上のための各種のプログラムを設定し、各企業に選択させる。

(イ) 主催 (公財) 日本生産性本部

(ウ) 日時 平成 26 年 3 月 30 日 (日) 18 : 30 ~ 20 : 00 (90 分)

(エ) 場所 (独) オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3 階

(オ) 参加企業 タイヘイ株式会社

(カ) 参加者 タイヘイ株式会社 平成 26 年度新入社員

(キ) 人数 28 人 (男性 19 人、女性 9 人)

(ク) 指導種目 チャチャチャ

(ケ) 講師 大島 寿子

(コ) タイヘイ株式会社側の感想 社交ダンスのプログラムで、最初と終わりで新入社員の雰囲気は全く変わり一体感が出たので、とても良いプログラムでした。

(1) 目的 ボールルームダンスを生涯スポーツの基礎として、学校学習に普及・啓発を図るため、多くの児童・生徒が「楽しさ」、「豊かさ」、「長年培われたマナー」が総合された世界共通の文化であるボールルームダンスの実際の踊りを見学、学習し学習意欲を喚起させる機会をつくることを目的として、学校へボールルームダンスのトップデモンストレーター及び指導者を派遣し、模範演技と実技講習をするとともに、ジュニア開発の裾野を広げる機会とする。

(2) 後援 文部科学省

(3) 期間 平成 24 年 4 月 1 日 (日) ~ 平成 25 年 3 月 31 日 (日)

(4) 派遣校

ア 和歌山県立たちばな支援学校

(ア) 日時 平成 25 年 9 月 3 日 (火) 13 : 00 分 ~ 14 : 20 分 (80 分)

(イ) 会場 広川町 B&G 海洋センター体育館

(ウ) 対象学年及び人数 高等部生徒 1 年 9 名、2 年 13 名、3 年 19 名
計 35 名 (男子 20 名、女子 15 名) 教員 21 名
合計 76 名

(エ) 教科または行事名 総合的な学習の時間「チャレンジタイム」特別講座

(オ) 開催目的 ボールルームダンスの体験を通して、ボールルームダンスへの興味関心を持ち、ダンスの楽しさに気づく、ボールルームダンスにチャレンジし、生活を豊かにする。

(カ) デモンストレーター

市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 堀口 宏 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

イ 大仙市立大曲小学校

(ア) 日 時 平成 25 年 10 月 9 日 (水) 13 : 30 分～15 : 00 分 (90 分)

(イ) 会 場 大仙市立大曲小学校体育館

(ウ) 対象学年及び人数 第 3 学年 128 人 (男子 70 人、女子 48 人)、4 年～6 年はデモだけ参加 360 人、教員・父母等 10 人 合計 488 人

(エ) 教科または行事名 体育

(オ) 開催目的 ボールルームダンスに触れ、「楽しさ」を理解する。

(カ) デモンストレーター

大村 淳毅 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

和田 恵 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 堀口 宏 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

ウ 江東区立砂町小学校

(ア) 日 時 平成 25 年 10 月 24 日 (木) 9 : 00 分～10 : 25 分 (85 分)

(イ) 会 場 江東区立砂町小学校体育館

(ウ) 対象学年及び人数 第 4 学年 91 人 (男子 48 人、女子 43 人)、教員 3 人、父母 20 人 合計 114 人

(エ) 教科または行事名 体育 (学校公開日)

(オ) 開催目的 体育の学習にボールルームダンスを取り入れることで、ダンスのリズム、ステップの楽しさを体験させることができる。また、ダンスにおけるエチケットを身につけることで豊かな対人関係を築くことができる。学校公開中に行うことにより、地域の保護者の方々にボールルームダンスを知っていただくよい機会となる。

(カ) デモンストレーター

市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 堀口 宏 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

エ 長崎市立桜馬場中学校

(ア) 日 時 平成 25 年 11 月 7 日 (木) 10 : 30 分～12 : 05 分 (95 分)

(イ) 会 場 長崎市立桜馬場中学校体育館

(ウ) 対象学年及び人数 第1学年 181人(男子85人、女子96人)、教員11人 合計192人

(エ) 教科または行事名 体育

(オ) 開催目的 体育授業のダンスにボールルームダンスの体験学習を取り入れることにより「楽しさ」、「豊かさ」、「対話」、「マナー」を学び、生涯スポーツを豊かにする能力を養う。

(カ) デモンストレーター

市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 堀口 宏 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

オ 長崎県青雲高等学校

(ア) 日 時 平成25年11月7日(木) 15:10分~16:00分 (50分)

(イ) 会 場 青雲学園内速見記念館

(ウ) 対象学年及び人数 第2学年 233人(男子165人、女子68人)、教員・父母等15人 合計248人

(エ) 教科または行事名 体育

(オ) 開催目的 世界の共通文化のボールルームダンスのトップアスリートの方々の模範演技や講習をしていただくことで身近なものと考え取り組めるようにする。

(カ) デモンストレーター

市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 堀口 宏 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

カ 奈良県香芝市立香芝北中学校

(ア) 日 時 平成25年11月11日(月) 15:00分~16:00分 (60分)

(イ) 会 場 奈良県香芝市立香芝北中学校

(ウ) 対象学年及び人数 第3学年 221人(男子98人、女子123人)、教員・父母等10人 合計231人

(エ) 教科または行事名 総合・体育

(オ) 開催目的 ダンス必修化に向けて、トップアスリートの実技を見学し体験学習を行う。

(カ) デモンストレーター

山本 武志 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

木嶋 友美 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 村田 恭子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

キ 国立音楽大学附属中学高等学校

(ア) 日 時 平成 25 年 11 月 29 日 (金) 13 : 30 分 ~ 14 : 30 分 (60 分)

(イ) 会 場 国立音楽大学附属中学高等学校体育館

(ウ) 対象学年及び人数 中学 1 年 67 人、中学 2 年 62 人、中学 3 年 72 人、高校 1 年 ~ 2 年約 30 人 280 人 (男子 30 人、女子 220 人)、教員・父母等 30 人 合計 310 人

(エ) 教科または行事名 体育及び道徳

(オ) 開催目的 音楽と身体表現を両面から学習する機会とする。

(カ) デモンストレーター

大村 淳毅 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

和田 恵 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 村田 恭子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

ク 墨田区立第一寺島小学校

(ア) 日 時 平成 26 年 1 月 23 日 (木) 8 : 45 分 ~ 12 : 15 分

※ 2・3・4 年生 : 08 : 45 分 ~ 10 : 20 分 (95 分)

※ 5・6 年生 : 10 : 40 分 ~ 12 : 15 分 (95 分)

(イ) 会 場 墨田区立第一寺島小学校校体育館

(ウ) 対象学年及び人数 2 年 72 人、特別支援クラス 3 年・4 年 5 人、5 年 74 人、特別支援クラス 5 年・6 年 9 人 (男子 40 人、女子 34 人) 計 160 人、教員・父母等 8 人
合計 168 人

(エ) 教科または行事名 体育 (出前授業)

(オ) 開催目的 ダンスの楽しさ、面白さを知る。体力・調整力のアップへの取り組みのきっかけとする。

(カ) デモンストレーター

市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊)

大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊)

(キ) 指導講師 島 輝子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

ケ 聖学院小学校

(ア) 日 時 平成 26 年 1 月 30 日 (木) 11 : 00 分 ~ 12 : 20 分 (80 分)

(イ) 聖学院中学校高等学校体育館 2 階アリーナ B

(ウ) 対象学年及び人数 2年 74人(男子 34人・女子 40人)、4年 85人(男子 40人、女子 45人) 計 159人、教員 4+父母 40人 合計 282人

※1年 79人はデモのみ参加

(エ) 教科または行事名 体育

(オ) 開催目的 「楽しさ」、「豊かさ」、「対話」、「マナー」等が総合された世界の共通文化であるボールルームダンスを、トップアスリートによるキャラバン隊の模範演技と講習により「見る、する、学ぶ」の体験を通してボールルームダンスの魅力に触れる機会とする。

(カ) デモンストレーター

市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 島 輝子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

(6) 実施校数、参加者総数 実施校 9校、総参加者 2,109人

(7) 期待される成果 ア ボールルームダンスに対し学校教諭の理解が深められる。
イ 児童・生徒のボールルームダンスへの関心が高められ、ボールルームダンスに取り組む者が増え裾野が広がる。

4 学校キャラバン隊

(1) 目的 ボールルームダンスを生涯スポーツの基礎として、学校学習に普及・啓発を図るため、多くの児童・生徒が「楽しさ」、「豊かさ」、「長年培われたマナー」が総合された世界共通の文化であるボールルームダンスの実際の踊りを見学、学習し学習意欲を喚起させる機会をつくることを目的として、学校へボールルームダンスのトップデモンストレーター及び指導者を派遣し、模範演技と実技講習をするとともに、ジュニア開発の裾野を拓げる機会とする。

(2) 後援 文部科学省

(3) 期間 平成 24年 4月 1日 (日) ~平成 25年 3月 31日 (日)

(4) 派遣校

ア 和歌山県立たちばな支援学校

(ア) 日時 平成 25年 9月 3日 (火) 13:00分~14:20分 (80分)

(イ) 会場 広川町 B&G 海洋センター体育館

(ウ) 対象学年及び人数 高等部生徒 1年 9名、2年 13名、3年 19名 計 35名
(男子 20名、女子 15名) 教員 21名 合計 76名

(エ) 教科または行事名 総合的な学習の時間「チャレンジタイム」特別講座

(オ) 開催目的 ボールルームダンスの体験を通して、ボールルームダンスへの興味関心を持ち、ダンスの楽しさに気づく、ボールルームダンス

にチャレンジし、生活を豊かにする。

(カ) デモンストレーター

市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン
隊アスリート)

大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン
隊アスリート)

(キ) 指導講師 堀口 宏 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会副
委員長)

イ 大仙市立大曲小学校

(ア) 日 時 平成 25 年 10 月 9 日 (水) 13 : 30 分 ~ 15 : 00 分 (90 分)

(イ) 会 場 大仙市立大曲小学校体育館

(ウ) 対象学年及び人数 第 3 学年 128 人 (男子 70 人、女子 48 人)、4 年 ~ 6
年はデモだけ 参加 360 人、教員・父母等 10 人 合計
488 人

(エ) 教科または行事名 体育

(オ) 開催目的 ボールルームダンスに触れ、「楽しさ」を理解する。

(カ) デモンストレーター

大村 淳毅 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン
隊アスリート)

和田 恵 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン
隊アスリート)

(キ) 指導講師 堀口 宏 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会副
委員長)

ウ 江東区立砂町小学校

(ア) 日 時 平成 25 年 10 月 24 日 (木) 9 : 00 分 ~ 10 : 25 分 (85 分)

(イ) 会 場 江東区立砂町小学校体育館

(ウ) 対象学年及び人数 第 4 学年 91 人 (男子 48 人、女子 43 人)、教員 3 人、
父母 20 人 合計 114 人

(エ) 教科または行事名 体育 (学校公開日)

(オ) 開催目的 体育の学習にボールルームダンスを取り入れることで、ダンス
のリズム、ステップの楽しさを体験させることができる。また、
ダンスにおけるエチケットを身につけることで豊かな対人関
係を築くことができる。学校公開中に行うことにより、地域の
保護者の方々にボールルームダンスを知っていただくよい機
会となる。

(カ) デモンストレーター

市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン
隊アスリート)

大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン
隊アスリート)

(キ) 指導講師 堀口 宏 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

エ 長崎市立桜馬場中学校

- (ア) 日 時 平成 25 年 11 月 7 日 (木) 10 : 30 分～12 : 05 分 (95 分)
- (イ) 会 場 長崎市立桜馬場中学校体育館
- (ウ) 対象学年及び人数 第 1 学年 181 人 (男子 85 人、女子 96 人)、教員 11 人 合計 192 人
- (エ) 教科または行事名 体育
- (オ) 開催目的 体育授業のダンスにボールルームダンスの体験学習を取り入れることにより「楽しさ」、「豊かさ」、「対話」、「マナー」を学び、生涯スポーツを豊かにする能力を養う。
- (カ) デモンストレーター
市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)
大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)
- (キ) 指導講師 堀口 宏 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

オ 長崎県青雲高等学校

- (ア) 日 時 平成 25 年 11 月 7 日 (木) 15 : 10 分～16 : 00 分 (50 分)
- (イ) 会 場 青雲学園内速見記念館
- (ウ) 対象学年及び人数 第 2 学年 233 人 (男子 165 人、女子 68 人)、教員・父母等 15 人 合計 248 人
- (エ) 教科または行事名 体育
- (オ) 開催目的 世界の共通文化のボールルームダンスのトップアスリートの方々の模範演技や講習をしていただくことで身近なもとと考え取り組めるようにする。
- (カ) デモンストレーター
市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)
大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)
- (キ) 指導講師 堀口 宏 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会副委員長)

カ 奈良県香芝市立香芝北中学校

- (ア) 日 時 平成 25 年 11 月 11 日 (月) 15 : 00 分～16 : 00 分 (60 分)
- (イ) 奈良県香芝市立香芝北中学校
- (ウ) 対象学年及び人数 第 3 学年 221 人 (男子 98 人、女子 123 人)、教員・父母等 10 人 合計 231 人
- (エ) 教科または行事名 総合・体育

(オ) 開催目的 ダンス必修化に向けて、トップアスリートの実技を見学し体験学習を行う。

(カ) デモンストレーター

山本 武志 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

木嶋 友美 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 村田 恭子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

キ 国立音楽大学附属中学高等学校

(ア) 日 時 平成 25 年 11 月 29 日 (金) 13 : 30 分～14 : 30 分 (60 分)

(イ) 会 場 国立音楽大学附属中学高等学校体育館

(ウ) 対象学年及び人数 中学 1 年 67 人、中学 2 年 62 人、中学 3 年 72 人、高校 1 年～2 年約 30 人 280 人(男子 30 人、女子 220 人)、教員・父母等 30 人 合計 310 人

(エ) 教科または行事名 体育及び道徳

(オ) 開催目的 音楽と身体表現を両面から学習する機会とする。

(カ) デモンストレーター

大村 淳毅 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

和田 恵 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 村田 恭子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

ク 墨田区立第一寺島小学校

(ア) 日 時 平成 26 年 1 月 23 日 (木) 8 : 45 分～12 : 15 分

※2・3・4 年生 : 08 : 45 分～10 : 20 分 (95 分)

※5・6 年生 : 10 : 40 分～12 : 15 分 (95 分)

(イ) 会 場 墨田区立第一寺島小学校校体育館

(ウ) 対象学年及び人数 2 年 72 人、特別支援クラス 3 年・4 年 5 人、5 年 74 人、特別支援クラス 5 年・6 年 9 人 (男子 40 人、女子 34 人) 計 160 人、教員・父母等 8 人 合計 168 人

(エ) 教科または行事名 体育 (出前授業)

(オ) 開催目的 ダンスの楽しさ、面白さを知る。体力・調整力のアップへの取り組みのきっかけとする。

(カ) デモンストレーター

市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 島 輝子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

ケ 聖学院小学校

(ア) 日 時 平成 26 年 1 月 30 日 (木) 11 : 00 分 ~ 12 : 20 分 (80 分)

(イ) 聖学院中学校高等学校体育館 2 階アリーナ B

(ウ) 対象学年及び人数 2 年 74 人 (男子 34 人・女子 40 人)、4 年 85 人 (男子 40 人、女子 45 人) 計 159 人、教員 4+父母 40 人 合計 282 人

※1 年 79 人はデモのみ参加

(エ) 教科または行事名 体育

(オ) 開催目的 「楽しさ」、「豊かさ」、「対話」、「マナー」等が総合された世界の共通文化であるボールルームダンスを、トップアスリートによるキャラバン隊の模範演技と講習により「見る、する、学ぶ」の体験を通してボールルームダンスの魅力に触れる機会とする。

(カ) デモンストレーター

市川 学 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

大島 寿子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト学校キャラバン隊アスリート)

(キ) 指導講師 島 輝子 (J B D F 学校学習創造支援プロジェクト委員会委員)

(5) 実施校数、参加者総数 実施校 9 校、総参加者 2,109 人

(6) 期待される成果 ア ボールルームダンスに対し学校教諭の理解が深められる。
イ 児童・生徒のボールルームダンスへの関心が高められ、ボールルームダンスに取り組む者が増え裾野が広がる。
ウ ジュニアの開発と発掘をするきっかけ作りになる。

5 サマーセミナー

(1) 目的 指導者を育成する為の講師・試験委員を育成する事業で、正しいボールルームダンスを不特定多数の一般の方に広めるとともに、全国的に地域差のない、ダンス指導者のための講習ができる人材の育成を目指している。

(3) 参加対象 会員・不特定多数の一般の方

(4) 期 日 平成 25 年 7 月 11 日 (木) 10 : 30 ~ 19 : 00
12 日 (金) 10 : 00 ~ 16 : 00

(5) 会 場 ティアラこうとう「大ホール」
東京都江東区住吉 2-28-36

(6) 14 回サマーセミナー実行委員会

- ・実行委員長 山内国祥 (教材作成委員会委員長)
- 副実行委員長 篠田龍祐 (本部試験管理委員会副委員長)
- 泉久保美一 (指導者資格認定委員会委員)
- ・実行委員 内田芳昭 (資格審議委員会委員長)、村澤武志 (本部試験管理委員会委員長)、

山口慶子（指導者資格認定委員会委員長）、鈴木美代子（講師・試験委員会委員長）、浅野ツキ子（競技実績認定委員会委員長）、杉原孝（会員管理委員会委員長）、宮岡光秋（チェッカー認定委員会委員長）

- (7) 特記事項 平成 25 年度に開催された第 14 回のサマーセミナーには 2 日間で 1,307 名の会員及び一般の方の参加があった。スタンダードはクイックステップを中心に講習を行い、ラテンはサンバを中心に行った。また、去年の「みんな de ジャイブ」に続き、今回も「みんな de ルンバ」というタイトルで、1 曲分のルーティンを作りサークル等で活用していただく為の講習を行い好評であった。

6 定期研修会

- (1) 目的 アマチュア地域指導員及び、プロ商業スポーツ施設インストラクターの会員に、年に 1 回最新の技術の講習を行い、日本全国の指導者の指導技術力の向上を目指す。
- (2) 参加対象 会員
- (3) 特記事項 平成 25 年度はスタンダードはスロー、ラテンアメリカンはルンバを指定種目とし、サマーセミナーで発表されたステップを中心の講習がなされた。
- (4) 日程・開催地区・会場・開催時間は、別紙①の表を参照。

7 ナショナルチーム選手育成事業

(ナショナルチーム強化講習会)

- (1) 目的 選手の技術力・競技力の向上とアスリート育成に貢献し、我が国のボールルームダンスのレベルアップを図ると共に、ボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 開催期日 [第 1 回]平成 25 年 8 月 5 日 (月)
[第 2 回]平成 25 年 10 月 27 日 (日)
[第 3 回]平成 26 年 2 月 2 日 (日)
- (3) 会場 [第 1 回]中央区立総合スポーツセンター (東京都)
[第 2 回]小野町 B & G 海洋センター (福島県)
[第 3 回]中央区立産業会館 (東京都)
- (4) 参加者数 [第 1 回] 90 人 (45 組)
[第 2 回] 20 人 (10 組)
[第 3 回] 32 人 (16 組)
- (5) 内容 各年代 (部門) のセミファイナリスト以上を対象に、ダンスの技術向上に必要な運動要素やテクニックについての講習会を行った。
- (6) 講師 [第 1 回]
《ダンスバランスエクササイズ》
長井 弓子
《ラテンの基礎・ラテンアメリカン講習・踊り込み》
中村 俊彦：元全日本ラテンアメリカンチャンピオン
《スタンダードの基礎・スタンダード講習・踊り込み》

家泉 尚樹：元全日本スタンダードファイナリスト

[第2回]

《バレエエクササイズ》

向高明日美：元全日本ラテンアメリカンファイナリスト

《ラテンアメリカン講習》

西島 鈺治：元全日本ラテンアメリカンファイナリスト

《ボールルーム講習》

奥山 俊一：元全日本スタンダードファイナリスト

[第3回] 16組 (32人)

《ダンスバランスエクササイズ》

長井 弓子

《ラテンアメリカン講習・踊り込み》

嶺岸 昭志：元統一全日本ラテンアメリカンチャンピオン

《スタンダード講習・踊り込み》

奥村 三郎：元全日本ラテンアメリカンチャンピオン

(7) 特記事項 平成16年度から20年度までは、SSFスポーツエイド(笹川スポーツ財団)の助成金を受けていた。

8 コンgress

- (1) 目的 アスリート及びトレーナーやコーチの育成に貢献すると共に、ボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 開催期日 平成26年2月28日(金)
- (3) 会場 幕張メッセ・国際会議場
- (4) 参加者数 約420人
- (5) 内容 「なぜ今、日本の選手が伸び悩んでいるのか。その原因は選手なのか、コーチなのか、現在のダンス環境を考える」をテーマに、講師として海外から元世界チャンピオンや、国内からダンス界はもちろんのこと、ダンス以外のジャンルより専門家を迎え、異なった角度からダンスに役立つ幅広い知識やダンス技術についての講習を行った。
- (6) 講師 [ジュニアからアスリートへの育成メソッド]
宮岡 光秋：J B D F ジュニアダンス開発部 部員
[スタンダードとラテンアメリカンリズムのノリかた]
白石 啓太：パーカッショニスト ヘルス・リズムスファシリテーター
[意外に知らないボールルームダンスの歴史と世界の最先端コンテンポラリー・ダンス]
乗越たかお：作家・舞踊評論家
[ラテンアメリカンレクチャー]
セルゲイ・リューピン：元世界ラテンアメリカンショーダンスチャンピオン
[スタンダードレクチャー]
青木 康典：元全日本セグエチャンピオン
青木 知子：元全日本セグエチャンピオン

9 ジュニアダンス開発事業

- (1) 目的 青少年の技術力の向上と健全育成に貢献すると共に、全国各地にジュニア・スクールを展開し、その開講教室に対し支援や助言を行い、各地区でのボールルームダンスの活性化及び若年層の拡大に寄与する。
- (2) 開催期日 各会場により異なる
- (3) 会場 全国の各教室や公民館等で開催（70教室）
- (4) 内容 各ジュニア・スクールにおいて1回につき60分～90分行い、13回を1クールとし年間で3クール行った。ジュニア・スクール開講教室に対し、参加人数に応じて、出席カードとシールを作成し送付した。また、1回の開催につき500円の交通費の支援を行った。
- (5) 特記事項 日頃の成果を試す機会及び目標や達成感を与えることを目的として、山形県・福島県において、バッジ・テストを実施した。

10 ダンスウィーク「ダンスの日」事業

- (1) 目的 「ダンスの日」を毎年11月29日に設定し、ボールルームダンス関係団体及び他のダンス団体等と連携し、全国展開を通じてボールルームダンスを広く国民に浸透させ、生涯スポーツ、国民文化として根付かせるために、広範に亘る国民の老若男女を対象にダンスを楽しんでもらう機会をつくり、ボールルームダンスの普及・啓発に努める。
- (2) 「ダンスの日」プロジェクト委員会委員
 - 委員長 内田芳昭（常務理事・資格審議委員会委員長）
 - 副委員長 北條章宏（運営委員会全国アスリート協会促進部長）
 - 学識委員 大宅尚武（学識評議員）、中村優子（学識理事）
 - 委員 酒井文男（ダンスの日顧問）、上川原 豊（北海道総局理事長）、荒井 清（東部総局普及部長）、内田通洋（東部総局企画事業部長）、服部雅安（中部総局企画運営委員会普及部長）、笠矢尚嗣（西部総局経理部長）、中間政則（九州総局普及部長）、小林 清（東京都支局理事）、大平政憲（岩手県支局長）、松本喜一（栃木県アマチュア地域協会会長）、田村幸雄（群馬県アマチュア地域協会会長）、駒 昭幸（埼玉県アマチュア地域協会会長）、地頭所 惇（茨城県アマチュア地域協会会長）、秋山 弘（千葉県アマチュア地域協会会長）、高野やえ子（東京都アマチュア地域協会会長）、吉川恒孝（神奈川県アマチュア地域協会会長） **計20人**
- (3) 対象 全国のダンス愛好者及び一般の子どもから大人までの老若男女
- (4) 開催期日 平成25年11月29日（金）を中心に前後1ヶ月以内とするが、ただし、この期間以外に実施団体行事に合わせて実施することも可能である。
- (5) 実施者 本連盟総局、都道府県支局、認定登録教室
- (6) 会場 都道府県組織実施及び認定登録教室実施が定める会場
- (7) 内容 ダンスタイム、ダンス講習、模範演技、デモンストレーション等
- (8) 2012年の年参加者数及び過去の「ダンスの日」の参加者年次推移

| 年度 | 認定教室 実施総数 | 認定教室参 加者総数 | 都道府県会場実施 県及び実施会場数 | 都道府県会場 参加者総数 | 参加者総数 |
|-------|--------------|---------------|----------------------|-----------------|----------|
| 2004年 | 86 教室 | 1,504 人 | 0 | 0 | 1,504 人 |
| 2005年 | 160 教室 | 2,809 人 | 18 都道府県 23 会場 | 2,761 人 | 5,570 人 |
| 2006年 | 82 教室 | 2,760 人 | 20 都道府県 29 会場 | 3,862 人 | 6,622 人 |
| 2007年 | 76 教室 | 2,185 人 | 24 都道府県 35 会場 | 11,522 人 | 13,615 人 |
| 2008年 | 46 教室 | 867 人 | 29 都道府県 40 会場 | 13,925 人 | 14,792 人 |
| 2009年 | 45 教室 | 1,135 人 | 29 都道府県 36 会場 | 11,142 人 | 12,277 人 |
| 2010年 | 47 教室 | 1,396 人 | 33 都道府県 39 会場 | 12,252 人 | 13,648 人 |
| 2011年 | 41 教室 | 1,123 人 | 42 都道府県 42 会場 | 9,984 人 | 11,107 人 |
| 2012年 | 21 教室 | 1,339 人 | 26 都道府県 31 会場 | 8,537 人 | 9,876 人 |
| 2013年 | 21 教室 | 1,015 人 | 31 都道府県 62 会場 | 9,221 人 | 10,236 人 |

(9) 「ダンスの日」実施状況の概要

〈総局別都道府県組織が主催して実施した状況〉

ア 北海道総局 道全域

イ 東部総局 岩手県、山形県、茨城県、群馬県、栃木県、埼玉県（2 会場で実施）、千葉県（5 会場で実施）、東京都、神奈川県（2 会場で実施）、長野県
※（17 都県のうち 1 都 9 県 16 会場で実施）

ウ 中部総局 静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、福井県、石川県、富山県
※（7 県全県で実施）

エ 西部総局 滋賀県、京都府、大阪府、鳥取県、岡山県、
※（14 府県のうち 5 県で実施）

オ 九州総局 山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県
※（8 県全県で実施）

(10) 「ダンスの日」特別協賛企業及び協賛金額

ア ロヂヤース 300,000 円

イ (株) 稲川素子事務所 200,000 円

協賛金合計 500,000 円

(11) 実施後の成果

ア ボールルームダンスの普及・啓発につながる。

- イ 一般の多くの人々にボールルームダンスの認知度が高められる。
- ウ 生涯スポーツの推進につながる。

1.1 地域協会支援事業

- (1) 目的 各都道府県地域協会において一般参加型のイベント等を開催することにより、各地区での生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及促進および底辺拡大に寄与する。また、そのイベント等に対し支援することにより、同時に地域協会の活性化を図る。
- (2) 開催期日 各都道府県地域協会により異なる。
- (3) 会場 各都道府県地域協会により異なる。
- (4) 内容 各都道府県地域協会において下記事業が企画・運営され、その事業に対し、費用の一部を事業金として支援した。

| |
|--|
| ①北海道地域指導員協会 |
| a) チャリティ「社交ダンス講習会&パーティー」 開催日:H25. 10. 6 会場:北見市瑞野町公民館 参加者数:約140名 |
| b) ダンスの日記念フェスティバルインサッポロ 開催日:H25. 11. 24 会場:北海道立体育館きたえーる 参加者数:約500名 |
| c) JBDFダンスの普及講習会・交流会 開催日:H25. 7. 14 会場:とかちプラザ 参加者数:約90名 |
| d) 日口親善ダンス交流会 ①開催日:H25. 6. 16 会場:旭川市公民館 参加者数:約90名 ②開催日:H25. 6. 19 会場:旭川市立第3小学校 参加者数:約90名 |
| e) 北海道地域指導員協会主催函館支部技術講習会 開催日:H25. 10. 6 会場:函館市亀田福祉センター 参加者数:約30名 |
| f) 空知支部管内 JBDF 普及交流と地域指導員講習会 開催日:H25. 8. 4 会場:橋爪ダンス教室 参加者数:約30名 |
| g) 道央札幌支部管内 JBDF 普及交流と地域指導員講習会 開催日:H25. 10. 27 会場:生涯学習センターちえりあ 参加者数:約90名 |
| h) ダンスの日協賛講習会&ダンスパーティー 開催日:H25. 11. 3 会場:札幌市生涯学習センター 参加者数:約150名 |
| ②福島県アマチュアダンス地域指導員協会 |
| a) 2013年ダンスマイライフ・フェスティバル in 福島チームマッチ 開催日:H25. 10. 27 会場:小野町民体育館 参加者数:約500名 |
| ③山形県アマチュア地域協会 |
| a) ワンポイントレッスン&社交ダンス交流会(村山支部) 開催日:H25. 5. 5 会場:山形県総合運動公園 参加者数:約80名 |

| |
|---|
| <p>b) ワンポイントレッスン&社交ダンス交流会(置賜支部) 開催日:H25. 5. 18 会場:南陽市民体育館 参加者数:約80名</p> <p>c) 講習会(置賜支部) 開催日:H25. 6. 22 会場:長井市生涯学習プラザ 参加者数:約30名</p> <p>d) 介護施設慰問(庄内支部) 開催日:H25. 12. 9 会場:多機能さくら若松 参加者数:約30名</p> <p>e) 講習会(村山支部) 開催日:H25. 11. 17 会場:東根市民体育館 参加者数:約20名</p> <p>f) 講習会(庄内支部) 開催日:H25. 7. 28 会場:酒田総合文化センター 参加者数:約20名</p> <p>g) 実技講習会(最上支部) 開催日:H25. 9. 29 会場:新庄市民プラザ 参加者数:約20名</p> <p>h) 介護施設慰問(庄内支部) 開催日:H25. 9. 28 会場:遊佐町老人デイサービスあいあい 参加者数:約25名</p> <p>i) 講習会(村山支部) 開催日:H25. 12. 15 会場:天童南部公民館 参加者数:約20名</p> <p>j) 介護施設慰問(庄内支部) 開催日:H25. 10. 27 会場:さくら福祉会グループホーム三川 参加者数:約40名</p> <p>k) ラテン講習会(置賜支部) 開催日:H25. 9. 21 会場:アクティー米沢 参加者数:約30名</p> <p>l) 後期講習会(庄内支部) 開催日:H25. 11. 24 会場:酒田総合文化センター 参加者数:約30名</p> <p>m) 介護施設慰問(庄内支部) 開催日:H25. 9. 14 会場:介護予防センターさくら広野 参加者数:約30名</p> <p>n) クリスマスパーティ(庄内支部) 開催日:H25. 12. 22 会場:酒田総合文化センター 参加者数:約160名</p> |
| <p>④茨城県アマチュア地域協会</p> <p>a) 研修会&パーティー(前期) 開催日:H25. 6. 30 会場:常澄レーニングセンター 参加者数:約130名</p> <p>b) ダンスの日イベント in 茨城 開催日:H25. 12. 1 会場:茨城県県南生涯学習センター 参加者数:約200名</p> <p>c) 研修会&パーティー(後期) 開催日:H25. 11. 10 会場:新台レーニングセンター 参加者数:約170名</p> <p>d) 後期交流パーティー 開催日:H26. 2. 2 会場:河内町中央公民館 参加者数:約120名</p> |
| <p>⑤千葉県アマチュア地域協会</p> |

| |
|---|
| <p>a) ダンス技術講習会とダンスパーティー 開催日:H25. 11. 16 会場:リフレッシュプラザ柏 参加者数:約110名</p> <p>b) ダンスの日記念技術講習会とダンスパーティー 開催日:H25. 12. 15 会場:佐倉市和田ふるさと館 参加者数:約75名</p> <p>c) 新春祝賀ダンスフェスティバル 開催日:26. 1. 16 会場:千葉県蘇我勤労市民プラザ 参加者数:約170名</p> |
| <p>⑥東京都地域協会</p> <p>a) 広報誌(短信)発行 開催日:H25. 5. 1 参加者数:5名</p> <p>b) 広報誌(短信)発行 開催日:H25. 9. 23 会場:粕谷区民センター 参加者数:4名</p> <p>c) 北多摩ブロック、親睦ダンスパーティー&講習会 開催日:H25. 6. 8 会場:JR国分寺駅ビル 参加者数:約70名</p> <p>d) 北多摩ブロック、親睦ダンスパーティー&講習会 開催日:H25.11. 10 会場:スインクホール 参加者数:約50名</p> <p>e) 南多摩ブロック 親睦交流ダンスパーティー 開催日:H25. 2. 16 会場:町田市文化交流センター 参加者数:約110名</p> <p>f) 南多摩ブロック会員対象 スキルアップ勉強会 開催日:H25. 3. 25~6. 21の5日間 参加者数:約80名 会場:町田市立総合体育館・日野市青年会館・日野市平山文化交流センター</p> <p>g) 南多摩ブロック 講習会&ダンスパーティー 開催日:H25. 7. 28 会場:永山ベルクホール 参加者数:約90名</p> <p>h) 南多摩ブロック 講習会&親睦ダンスパーティー 開催日:H25. 11. 17 会場:日野市立新町交流センター 参加者数:約110名</p> <p>i) ダンス基礎講習会(地域指導員5・4級) 開催日:H25. 3. 9 3. 10 3. 16 3. 30 4. 6 4. 7 計6回 会場:新宿スポーツセンター 参加者数:約40名</p> <p>j) 西ブロック ダンスに於ける男性の役割とリードとは 開催日:H26. 3. 23 会場:新宿コズミックセンター 参加者数:約40名</p> <p>k) 南ブロック 講習会及びダンスパーティー 開催日:H25. 5. 19 会場:上北沢区民センター 参加者数:約130名</p> <p>l) 東ブロック親睦パーティ&講習会 開催日:H25. 4. 29 参加者数:約30名</p> <p>m) 東ブロック講習会 開催日:H25.8. 22 会場:コミュニティ財団会館 参加者数:約25名</p> <p>n) 東ブロック親睦パーティ&講習会 開催日:H25. 11. 17 会場:市川市しんとく体育館 参加者数:約100名</p> |
| <p>⑦神奈川県支局アマチュア地域協会</p> |

| |
|--|
| <p>a) 市民交流ダンスパーティー 開催日:H25. 4. 21 会場:ほ도가や地区センター 参加者数:約160名</p> <p>b) 市民交流ダンスパーティー 開催日:H25. 6. 2 会場:緑スポーツセンター 参加者数:約340名</p> <p>c) 市民交流ダンスパーティー 開催日:H25. 6. 20 会場:茅ヶ崎市役所別館 参加者数:約260名</p> <p>d) 市民交流ダンスパーティー 開催日:H25. 9. 16 会場:大和市保健福祉センター 参加者数:約90名</p> <p>e) ダンスの日 in 横須賀 福祉チャリティー・ダンスパーティー 開催日:H25. 11. 17 会場:横須賀市立総合福祉会館 参加者数:約200名</p> <p>f) 交流ダンスパーティー 開催日:H26. 3. 9 会場:中原市民会館 参加者数:約60名</p> <p>g) 技術講習会 開催日:H25. 11. 10 会場:中山地区センター 参加者数:約35名</p> <p>h) 技術講習会&ミニ・パーティー 開催日:H25. 10. 21 会場:茅ヶ崎市役所分庁舎 参加者数:約70名</p> <p>i) 技術講習会&ミニ・パーティー 開催日:H25. 9. 28 会場:横浜市戸塚区総合庁舎 参加者数:約90名</p> |
| <p>⑧新潟県アマチュアダンス地域指導員協会</p> <p>a) アマチュア・ダンス地域指導員協会役員会 開催日:H25. 4. 14 会場:燕市総合文化センター 参加者数:約20名</p> <p>b) 定期総会 開催日:H25. 5. 12 会場:長岡市ロングライフセンター 参加者数:約50名</p> <p>c) ダンス技術向上の推進(技術講習会の開催) 開催日:H25. 5. 12 会場:長岡市ロングライフセンター 参加人数:約50名</p> <p>d) 地域ダンス普及の推進及び愛好者との親睦交流会 開催日:H25. 5. 18 会場:上越市勤労身体障害者体育館 参加者数:約100名</p> <p>e) 地域ダンス普及の推進及び愛好者との親睦交流会 開催日:H25. 9. 8 会場:柏崎市ワークプラザ柏崎 参加者数:約80名</p> <p>f) アマチュア・ダンス地域指導員協会役員会 開催日:H25. 9. 23 会場:長岡市ロングライフセンター 参加人数:約20名</p> <p>g) 地域ダンス普及の推進及び愛好者との親睦交流会 開催日:H25. 10. 13 会場:上越市勤労身体障害者体育館 参加人数:約100名</p> <p>h) 地域ダンス普及の推進及び愛好者との新春ダンス交流会 開催日:H26. 1. 5 会場:上越市勤労身体障害者体育館 参加者数:約190名</p> <p>i) 地域ダンス普及の推進及び愛好者との親睦交流会 開催日:H26. 2. 9 会場:長岡市北部体育館 参加者数:約410名</p> |
| <p>⑨長野県アマチュア地域協会</p> |

| |
|---|
| <p>a) ダンスの日 フェスティバルダンス in 長野 開催日:H25. 11. 3 会場:長野運動公園総合体育館プアリーナ 参加者数:約180名</p> <p>b) 地域ダンスフェスティバル 開催日:H26. 3. 22 会場:県社会福祉総合センター 参加者数:約90名</p> |
| ⑩石川県アマチュア地域協会 |
| <p>a) 2013「石川県アマチュアスポーツダンスフェスティバル」 開催日:H25. 10. 14 会場:石川県総合スポーツセンター 参加者数:約400名</p> |
| ⑪大阪府地域協会 |
| <p>a) 大阪インター 外人講師によるレクチャー 開催日:H25. 6. 15 会場:池田市五月山体育館 参加者数:約750名</p> <p>b) ダンスの日のタベ 開催日:H25. 11. 9 会場:池田市五月山体育館 参加者数:約480名</p> <p>c) クリスマス大舞踏会 開催日:H25. 12. 14 会場:池田市五月山体育館 参加者数:約1180名</p> <p>d) 春の大舞踏会 開催日:H26. 3. 21 会場:池田市五月山体育館 参加者数:約620名</p> |
| ⑫京都府アマチュア地域協会 |
| <p>a) 第 21 回ダンス技術講習会及びミニコンペ 開催日:H26. 2. 9 会場:(財)京都労働者総合会館 参加者数:約160名</p> |
| ⑬兵庫県地域指導員会 |
| <p>a) 平成25年度技術講習会 開催日:H26. 3. 21 会場:神戸市立生田文化会館 参加者数:約80名</p> |
| ⑭群馬県アマチュアダンス地域指導員協会 |
| <p>a) 「ダンスの日」記念パーティー 開催日:H25. 11. 23 会場:群馬建設会館 参加者数:約320名</p> <p>b) 「地域指導員だより」発行事業 開催日:H25. 12 配布数:137名分</p> <p>c) 地域指導員 ダンス技術研修会 開催日:H25. 6. 30 会場:群馬県勤労福祉センター 参加者数:約35名</p> |
| ⑮滋賀県地域協会 |
| <p>a) 第 7 回ダンス技術講習会&ダンスパーティー 開催日:H25. 11. 22 会場:大津市生涯学習センター 参加者数:約120名</p> |
| ⑯福岡県アマチュア地域協会 |
| <p>a) 2013「ダンスの日」記念パーティー 開催日:H25. 11. 3 会場:クローバープラザ 参加者数:約140名</p> |
| ⑰富山県アマチュア地域協会 |
| <p>a) オータムダンスフェスティバル 開催日:H25. 11. 4 会場:農村環境改善センター 参加者数:約200名</p> |
| ⑱栃木県アマチュア地域協会 |

| |
|---|
| <p>a) ダンスの日記念パーティー 開催日:H25. 11. 24 会場:栃木市総合運動公園体育館 参加者数:約400名</p> |
|---|

12 スーパージャパンカップダンス前夜祭・ダンスマイライフ大舞踏会

- (1) 目的 各都道府県地域協会において一般参加型のイベント等を開催することにより、各地区での生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及促進および底辺拡大に寄与する。また、そのイベント等に対し支援することにより、同時に地域協会の活性化を図る。
- (2) 開催期日 各都道府県地域協会により異なる。
- (3) 会場 各都道府県地域協会により異なる。
- (4) 内容 各都道府県地域協会において下記事業が企画・運営され、その事業に対し、費用の一部を事業金として支援した。

| |
|--|
| <p>①北海道地域指導員協会</p> <p>a) チャリティ「社交ダンス講習会&パーティー」 開催日:H25. 10. 6 会場:北見市瑞野町公民館 参加者数:約140名</p> <p>b) ダンスの日記念フェスティバルインサッポロ 開催日:H25. 11. 24 会場:北海道立体育館さたえーる 参加者数:約500名</p> <p>c) JBDFダンスの普及講習会・交流会 開催日:H25. 7. 14 会場:とかちプラザ 参加者数:約90名</p> <p>d) 日口親善ダンス交流会 ①開催日:H25. 6. 16 会場:旭川市公民館 参加者数:約90名 ②開催日:H25. 6. 19 会場:旭川市立第3小学校 参加者数:約90名</p> <p>e) 北海道地域指導員協会主催函館支部技術講習会 開催日:H25. 10. 6 会場:函館市亀田福祉センター 参加者数:約30名</p> <p>f) 空知支部管内 JBDF 普及交流と地域指導員講習会 開催日:H25. 8. 4 会場:橋爪ダンス教室 参加者数:約30名</p> <p>g) 道央札幌支部管内 JBDF 普及交流と地域指導員講習会 開催日:H25. 10. 27 会場:生涯学習センターちえりあ 参加者数:約90名</p> <p>h) ダンスの日協賛講習会&ダンスパーティー 開催日:H25. 11. 3 会場:札幌市生涯学習センター 参加者数:約150名</p> |
| <p>②福島県アマチュアダンス地域指導員協会</p> <p>a) 2013年ダンスマイライフ・フェスティバル in 福島チームマッチ 開催日:H25. 10. 27 会場:小野町民体育館 参加者数:約500名</p> |
| <p>③山形県アマチュア地域協会</p> <p>a) ワンポイントレッスン&社交ダンス交流会(村山支部) 開催日:H25. 5. 5 会場:山形県総合運動公園 参加者数:約80名</p> <p>b) ワンポイントレッスン&社交ダンス交流会(置賜支部) 開催日:H25. 5. 18 会場:南陽市民体育館 参加者数:約80名</p> |

| |
|---|
| <p>c) 講習会(置賜支部) 開催日:H25. 6. 22 会場:長井市生涯学習プラザ 参加者数:約30名</p> <p>d) 介護施設慰問(庄内支部) 開催日:H25. 12. 9 会場:多機能さくら若松 参加者数:約30名</p> <p>e) 講習会(村山支部) 開催日:H25. 11. 17 会場:東根市民体育館 参加者数:約20名</p> <p>f) 講習会(庄内支部) 開催日:H25. 7. 28 会場:酒田総合文化センター 参加者数:約20名</p> <p>g) 実技講習会(最上支部) 開催日:H25. 9. 29 会場:新庄市民プラザ 参加者数:約20名</p> <p>h) 介護施設慰問(庄内支部) 開催日:H25. 9. 28 会場:遊佐町老人デイサービスあいあい 参加者数:約25名</p> <p>i) 講習会(村山支部) 開催日:H25. 12. 15 会場:天童南部公民館 参加者数:約20名</p> <p>j) 介護施設慰問(庄内支部) 開催日:H25. 10. 27 会場:さくら福祉会グループホーム三川 参加者数:約40名</p> <p>k) ラテン講習会(置賜支部) 開催日:H25. 9. 21 会場:アクティー米沢 参加者数:約30名</p> <p>l) 後期講習会(庄内支部) 開催日:H25. 11. 24 会場:酒田総合文化センター 参加者数:約30名</p> <p>m) 介護施設慰問(庄内支部) 開催日:H25. 9. 14 会場:介護予防センターさくら広野 参加者数:約30名</p> <p>n) クリスマスパーティ(庄内支部) 開催日:H25. 12. 22 会場:酒田総合文化センター 参加者数:約160名</p> |
| <p>④茨城県アマチュア地域協会</p> <p>a) 研修会&パーティー(前期) 開催日:H25. 6. 30 会場:常澄レーニングセンター 参加者数:約130名</p> <p>b) ダンスの日イベント in 茨城 開催日:H25. 12. 1 会場:茨城県県南生涯学習センター 参加者数:約200名</p> <p>c) 研修会&パーティー(後期) 開催日:H25. 11. 10 会場:新谷レーニングセンター 参加者数:約170名</p> <p>d) 後期交流パーティー 開催日:H26. 2. 2 会場:河内町中央公民館 参加者数:約120名</p> |
| <p>⑤千葉県アマチュア地域協会</p> <p>a) ダンス技術講習会とダンスパーティー 開催日:H25. 11. 16 会場:リフレッシュプラザ柏 参加者数:約110名</p> <p>b) ダンスの日記念技術講習会とダンスパーティー 開催日:H25. 12. 15 会場:佐倉市和田ふるさと館 参加者数:約75名</p> <p>c) 新春祝賀ダンスフェスティバル 開催日:26. 1. 16 会場:千葉市蘇我勤労市民プラザ 参加者数:約170名</p> |

⑥東京都地域協会

a) 広報誌(短信)発行

開催日:H25. 5. 1 参加者数:5名

b) 広報誌(短信)発行

開催日:H25. 9. 23 会場:粕谷区民センター 参加者数:4名

c) 北多摩ブロック、親睦ダンスパーティー&講習会

開催日:H25. 6. 8 会場:JR国分寺駅ビル 参加者数:約70名

d) 北多摩ブロック、親睦ダンスパーティー&講習会

開催日:H25.11. 10 会場:スイnkホール 参加者数:約50名

e) 南多摩ブロック 親睦交流ダンスパーティー

開催日:H25. 2. 16 会場:町田市文化交流センター 参加者数:約110名

f) 南多摩ブロック会員対象 スキルアップ勉強会

開催日:H25. 3. 25~6. 21の5日間 参加者数:約80名

会場:町田市立総合体育館・日野市青年会館・日野市平山文化交流センター

g) 南多摩ブロック 講習会&ダンスパーティー

開催日:H25. 7. 28 会場:永山ベルクホール 参加者数:約90名

h) 南多摩ブロック 講習会&親睦ダンスパーティー

開催日:H25. 11. 17 会場:日野市立新町交流センター 参加者数:約110名

i) ダンス基礎講習会(地域指導員5・4級)

開催日:H25. 3. 9 3. 10 3. 16 3. 30 4. 6 4. 7 計6回

会場:新宿スポーツセンター 参加者数:約40名

j) 西ブロック ダンスに於ける男性の役割とリードとは

開催日:H26. 3. 23 会場:新宿コズミックセンター 参加者数:約40名

k) 南ブロック 講習会及びダンスパーティー

開催日:H25. 5. 19 会場:上北沢区民センター 参加者数:約130名

l) 東ブロック親睦パーティー&講習会

開催日:H25. 4. 29 参加者数:約30名

m) 東ブロック講習会

開催日:H25.8. 22 会場:コミュニティ財団会館 参加者数:約25名

n) 東ブロック親睦パーティー&講習会

開催日:H25. 11. 17 会場:市川市しんとく体育館 参加者数:約100名

⑦神奈川県支局アマチュア地域協会

| |
|--|
| <p>a) 市民交流ダンスパーティー 開催日:H25. 4. 21 会場:ほ도가や地区センター 参加者数:約160名</p> <p>b) 市民交流ダンスパーティー 開催日:H25. 6. 2 会場:緑スポーツセンター 参加者数:約340名</p> <p>c) 市民交流ダンスパーティー 開催日:H25. 6. 20 会場:茅ヶ崎市役所別館 参加者数:約260名</p> <p>d) 市民交流ダンスパーティー 開催日:H25. 9. 16 会場:大和市保健福祉センター 参加者数:約90名</p> <p>e) ダンスの日 in 横須賀 福祉チャリティー・ダンスパーティー 開催日:H25. 11. 17 会場:横須賀市立総合福祉会館 参加者数:約200名</p> <p>f) 交流ダンスパーティー 開催日:H26. 3. 9 会場:中原市民会館 参加者数:約60名</p> <p>g) 技術講習会 開催日:H25. 11. 10 会場:中山地区センター 参加者数:約35名</p> <p>h) 技術講習会&ミニ・パーティー 開催日:H25. 10. 21 会場:茅ヶ崎市役所分庁舎 参加者数:約70名</p> <p>i) 技術講習会&ミニ・パーティー 開催日:H25. 9. 28 会場:横浜市戸塚区総合庁舎 参加者数:約90名</p> |
| <p>⑧新潟県アマチュアダンス地域指導員協会</p> <p>a) アマチュア・ダンス地域指導員協会役員会 開催日:H25. 4. 14 会場:燕市総合文化センター 参加者数:約20名</p> <p>b) 定期総会 開催日:H25. 5. 12 会場:長岡市ロングライフセンター 参加者数:約50名</p> <p>c) ダンス技術向上の推進(技術講習会の開催) 開催日:H25. 5. 12 会場:長岡市ロングライフセンター 参加人数:約50名</p> <p>d) 地域ダンス普及の推進及び愛好者との親睦交流会 開催日:H25. 5. 18 会場:上越市勤労身体障害者体育館 参加者数:約100名</p> <p>e) 地域ダンス普及の推進及び愛好者との親睦交流会 開催日:H25. 9. 8 会場:柏崎市ワークプラザ柏崎 参加者数:約80名</p> <p>f) アマチュア・ダンス地域指導員協会役員会 開催日:H25. 9. 23 会場:長岡市ロングライフセンター 参加人数:約20名</p> <p>g) 地域ダンス普及の推進及び愛好者との親睦交流会 開催日:H25. 10. 13 会場:上越市勤労身体障害者体育館 参加人数:約100名</p> <p>h) 地域ダンス普及の推進及び愛好者との新春ダンス交流会 開催日:H26. 1. 5 会場:上越市勤労身体障害者体育館 参加者数:約190名</p> <p>i) 地域ダンス普及の推進及び愛好者との親睦交流会 開催日:H26. 2. 9 会場:長岡市北部体育館 参加者数:約410名</p> |
| <p>⑨長野県アマチュア地域協会</p> |

| |
|---|
| <p>a) ダンスの日 フェスティバルダンス in 長野 開催日:H25. 11. 3 会場:長野運動公園総合体育館プアリーナ 参加者数:約180名</p> <p>b) 地域ダンスフェスティバル 開催日:H26. 3. 22 会場:県社会福祉総合センター 参加者数:約90名</p> |
| ⑩石川県アマチュア地域協会 |
| <p>a) 2013「石川県アマチュアスポーツダンスフェスティバル」 開催日:H25. 10. 14 会場:石川県総合スポーツセンター 参加者数:約400名</p> |
| ⑪大阪府地域協会 |
| <p>a) 大阪インター 外人講師によるレクチャー 開催日:H25. 6. 15 会場:池田市五月山体育館 参加者数:約750名</p> <p>b) ダンスの日の夕べ 開催日:H25. 11. 9 会場:池田市五月山体育館 参加者数:約480名</p> <p>c) クリスマス大舞踏会 開催日:H25. 12. 14 会場:池田市五月山体育館 参加者数:約1180名</p> <p>d) 春の大舞踏会 開催日:H26. 3. 21 会場:池田市五月山体育館 参加者数:約620名</p> |
| ⑫京都府アマチュア地域協会 |
| <p>a) 第 21 回ダンス技術講習会及びミニコンペ 開催日:H26. 2. 9 会場:(財)京都労働者総合会館 参加者数:約160名</p> |
| ⑬兵庫県地域指導員会 |
| <p>a) 平成25年度技術講習会 開催日:H26. 3. 21 会場:神戸市立生田文化会館 参加者数:約80名</p> |
| ⑭群馬県アマチュアダンス地域指導員協会 |
| <p>a) 「ダンスの日」記念パーティー 開催日:H25. 11. 23 会場:群馬建設会館 参加者数:約320名</p> <p>b) 「地域指導員だより」発行事業 開催日:H25. 12 配布数:137名分</p> <p>c) 地域指導員 ダンス技術研修会 開催日:H25. 6. 30 会場:群馬県勤労福祉センター 参加者数:約35名</p> |
| ⑮滋賀県地域協会 |
| <p>a) 第 7 回ダンス技術講習会&ダンスパーティー 開催日:H25. 11. 22 会場:大津市生涯学習センター 参加者数:約120名</p> |
| ⑯福岡県アマチュア地域協会 |
| <p>a) 2013「ダンスの日」記念パーティー 開催日:H25. 11. 3 会場:クローバープラザ 参加者数:約140名</p> |
| ⑰富山県アマチュア地域協会 |
| <p>a) オータムダンスフェスティバル 開催日:H25. 11. 4 会場:農村環境改善センター 参加者数:約200名</p> |
| ⑱栃木県アマチュア地域協会 |

| |
|---|
| a) ダンスの日記念パーティー 開催日:H25. 11. 24 会場:栃木市総合運動公園体育館 参加者数:約400名 |
|---|

第2. 調査・資料収集に関する活動

1 国際渉外事業

(1) 目的 国際問題や国際競技会等の情報収集、調査、研究を行い、それに伴う海外の組織に関わる事務全般を行う。

(2) 内容 1. WDC 関係

(1) 各種登録業務

①2013年 WDC インターナショナルライセンス – 審査員

国際競技会の審査員を務める際に必要となるライセンスであるため、全国のA級審査員を対象に申請希望者を募集したところ、平成25年度は解約13名、新規希望者が5名、更新希望者が166名、合計171名が申請した。

②2013年 WDC インターナショナルライセンス – 選手

国際競技会に出場する際に必要となるライセンスであるため、全国のプロ選手会に所属する選手を対象に申請希望者を募集したところ、平成25年度は解約68名、新規希望者が59名、更新希望者が329名、合計388名が申請した。

(2) WDC 会議関連業務

5月/6月にブラックプールで開催された総会および各種委員会の資料準備と報告書作成を行った。

なお、2013年の総会および各種委員会のJBDF出席者は以下のとおりである。

| 会議名称 | 日付 | JBDF 代表者 | |
|-------------|-------|----------|----------|
| 年次総会 | 5月30日 | 篠田 忠氏 | 村田 (事務局) |
| ダンススポーツ委員会 | 5月27日 | 篠田 忠氏 | 村田 (事務局) |
| ソーシャルダンス委員会 | 5月29日 | 村澤 武氏 | 村田 (事務局) |
| アジア太平洋協議会 | 5月28日 | 篠田 忠氏 | 村田 (事務局) |

(3) 日本プロダンス協議会 (JNCPD) から依頼を受けた通信業務。

世界選手権に派遣される JBDF 審査員および選手に関連した必要書類の手続きや、年間を通じて一般的な通信業務の翻訳補助を行った。

なお、2013年の各種世界選手権大会に出場した JBDF 選手/審査員は以下の通りである。

| 大会名称 | 日付 | 開催地 | 派遣審査員 |
|-----------|-------|------|-------|
| ボールルーム選手権 | 4月20日 | モスクワ | 檜山 浩治 |

| 大会名称 | 日付 | 開催地 | 派遣選手 |
|-----------|------------------|-------------|------------|
| ボールルーム選手権 | 4月20日 | モスクワ | 浅村組 |
| ラテン選手権 | 9月1日 | アメリカ | 織田組 |
| 〃 | 〃 | 〃 | 金光組 |
| ラテンショーダンス | 6月21日 6月22日 | タンパ フロリダ | 金光組 |
| 10ダンス | 10月18日 10月19日 | カナダ | 山本組 立石組 |

- (4) 日本プロダンス協議会（JNCPD）主催の統一全日本戦では JDC が主幹事を務め大会の海外審査員に対し経費の精算やジャッジ会議において翻訳や通訳を行った。

2. BDFI

- (1) 5月/6月に英国ブラックプールで開催された総会および国際理事会の資料準備、会議通訳、議事録翻訳などを行った。
- (2) 2013年のBDFI国内会員数は1名（四本信子代表）であった。

2 機関誌作成事業

- (1) 目的 本連盟が平成25年度に行う諸事業に関し、必要な情報を紙媒体及びインターネット上の本連盟ホームページを通して多くの人へ発信し、各事業への理解及び参加をうながす。併せて多くの人へ、ボールルームダンスの魅力、本連盟の活動を広報し、本連盟が目指すダンス文化創造の土台づくりに貢献する。
- (2) 配布対象 全国の本連盟会員、関係企業、教育機関、行政機関、一般のダンス愛好者、本連盟が開催する指導者講習会参加者（学校教員）など。
- (3) 発行回数と部数
計画通りに年3回、74号、75号、76号を発行した。発行部数は各号14,000部。
- (4) 内容 **74号(5/10発行)：**
平成25年度事業計画、「2013 スーパージャパンカップダンス」詳細、平成24年度のジュニアスクール活動報告、サマーセミナー開催情報、東日本大震災復興支援報告 vol.6 など。

75号 (9/10 発行) :

2013年日本インターカラー詳報、平成25年度小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップの詳報、新理事訪問、サマーセミナー開催レポート、宝塚歌劇団ミュージカル『Shall we ダンス?』など。

76号 (1/20 発行) :

「J B D Fプロ選手権」及び「全日本10ダンス選手権」の詳報、2013年「ダンスの日」活動報告、ダンスコレクション並びにダンスサミットのレポート、東日本大震災復興支援報告 vol.7 など。

- (5) 成 果 平成25年度に本連盟が取り組んだ諸事業について、ホームページ上での公開と併せて、多くの人へ広報することができた。また東日本大震災復興支援活動についても継続して伝えることで、被災地のダンス愛好者へ支援の気持ちを伝えることができた。

3 情報システム運営事業

- (1) 目 的 タイムリーに情報更新を行い、本連盟の活動とボールルームダンスの魅力を周知広報する。また、事業計画や収支報告などの情報公開の窓口として活用する。
- (2) 閲覧数 平成25年度(平成25年1月～平成25年12月)の年間訪問者数は約36万人(平成23年度は35万人)、ページビューは約134万ページ(平成23年度は127万ページ)。
- (3) 内 容 ① J B D Fの設立目的や役員名、組織図や事業計画、事業報告、予算・決算書など組織概要の紹介(日本語と一部英語)。5総局へのリンク、支局・協会一覧。
② 運営委員会の情報(普及イベントや競技会情報)。
③ 資格審議委員会の情報(試験日程、サマーセミナーや定期研修会の情報)。
④ 21世紀ダンス文化普及振興室の情報(講習会開催と学校キャラバン隊など)。
⑤ 機関誌『ダンスマイライフ』最新号及びバックナンバー。
⑥ 全国の本連盟認可ダンススクールの一覧情報。
⑦ 各種教材とダンス音楽CD等のネット販売。
- (4) 成 果 平成25年度の各種情報を適宜更新した。

4 資料室運営事業

- (1) 目 的 日本のダンス界が次世代へ残す共有の財産という位置づけで、ボールルームダンスと関連する音楽やスポーツ科学等の書籍並びに映像資料等を収集し、ボールルームダンスの普及と技術向上に向けた研究・調査等をサポートする。
- (2) 対象、閲覧要項

本連盟会員及び一般。利用は無料。閲覧時間：平日午前10時～午後6時。

- (3) 収蔵内容
- ①日本はじめ英国などのダンスの解説書（昭和初期の貴重なものから戦後、現在のものまで）。
 - ②ダンス雑誌（昭和初期の貴重なものから戦後、現在のものまで）。
 - ③ダンス史や評伝、アルゼンチンタンゴ等、他ジャンルダンスの書籍。
 - ④ダンス音楽及びダンス映像等。
 - ⑤競技会プログラム、引退パーティプログラム。
 - ⑥学校体育教育に関する専門書（青柳文庫）。
 - ⑦身体科学、スポーツ医学書（青柳文庫）
- 書籍約500冊、雑誌約1100冊。
- (4) 成 果
- 平成24年度から継続して進めてきた月刊『ダンスと音楽』の合本化がほぼ終了し、劣化や紛失の心配がなくなった。なお、資料室の平成25年度の利用者はダンス愛好家、学生など11人であった（平成23年度は17人）。

第3. 資格付与に関する活動

1 プロダンスインストラクター事業

- (1) 目 的
- 国家公安委員会より風俗営業法からの適用除外を受けられる指導者を養成できる特定講習団体の指定を受けて、認定講習及び考査・認定試験を年に2回国家公安委員会指導の下全国9ブロックにおいて開催する事業。
- (2) 参加対象
- プロ・ダンス・インストラクター資格を取りたいアマチュアの指導員及び不特定多数の一般の方
- (3) 特記事項
- 平成25年度は第29回が4月26日（金）と、第30回が10月25日（金）に開催された。第29回が受験者数71名で合格者59名。第30回が受験者数105名で合格者81名。年間の受験者176名で合格者140名であったので、合格率は約79.5%だった。なお、認定試験の受験者はいなかった。
- (4) 日程・開催地区・講習会場・試験会場は別紙②の表を参照。

2 資格認定事業

- (1) 目 的
- 不特定多数の一般の方に正しいボールルームダンスを広めるために、講習会及び認定試験によって指導者を養成・育成することを目的とする認定試験の開催。
- (2) 参加対象
- ボールルームダンスを指導することに興味のある一般の方から、指導技術の向上を目指す会員。

- (3) 特記事項 地域指導員 5 級～1 級の認定試験は全国 10 箇所にて開催され延べ 204 名の受験者があり、172 名が合格した。合格率は 84.3%になる。
- (4) 日程・開催地区・開催された級・受験者数・合格者数・実施会場・責任者は、別紙②の表を参照。

第 4. 競技会に関する活動

1 小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ

◎スポーツ拠点づくり推進事業（総務省・文部科学省推進）認定スポーツ大会

- (1) 目的 総務省と文部科学省が推進する「スポーツ拠点づくり推進事業」の承認を受け、青少年の競技力の向上と心身の健全育成並びにアスリート育成を図ると共に、国内でのボールルームダンスの認知及び底辺拡大と地域の活性化に寄与する。
- (2) 開催期日 平成 25 年 8 月 3 日（土）・4 日（日）
- (3) 会場 中央区立総合スポーツセンター（東京都）
- (4) 後援 総務省、文部科学省、東京都教育委員会、中央区、中央区教育委員会、(一財)地域活性化センター、(公財)日本レクリエーション協会、(公財)日本余暇文化振興会、読売新聞社
- (5) 協賛・協力 日本スポーツダンス振興会 [スタジオひまわり、ステップ・ダンスプラス、スーパダンス・ジャパン、セキネ商事、タカ・ダンスファッション、ダンスファッションフジヤマ、チャコット、ティーシーイービィ、東京トリキン、フオノ、藤掛]、人形町商店街協同組合
- (6) 参加者数 369 人（延べ 435 組）
- (7) 一般来場者数 約 1,700 人（2 日間合計）
- (8) 内容 未就学の部・小学生低学年の部・小学生高学年の部・中学生の部・高校生の部に分かれ、男女カップル及び女子同士カップルの 2 部門においてスタンダード・ラテン部門それぞれに競技を行った。
- (9) 特記事項 総務省と文部科学省が推進する「スポーツ拠点づくり推進事業」の承認スポーツ大会として、一般財団法人地域活性化センターの支援及び東京都中央区の協力を得て実施した。

2 ジャパン・ジュニア・ダンス・フェスティバル

- (1) 目的 ボールルームダンスの楽しさを理解してもらうと共に、青少年の技術力の向上と健全育成に貢献し、ボールルームダンスの普及・発展に寄与する。
- (2) 開催期日 平成 25 年 8 月 3 日（土）
- (3) 会場 中央区立総合スポーツセンター（東京都）
- (4) 参加者数 450 人
- (5) 一般来場者数 約 390 人
- (6) 内容 小学生の低学年、中学年、高学年、中学・高校生の 4 部門に分かれ、カップルではなくソロで踊るシャドーダンスで競技を行った。

(7) 特記事項 大会の一環として、バッジ・テストも開催した。

3 日本インターナショナルダンス選手権大会

- (1) 目的 国際競技会を通してボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成及び国際親善に役立つと共に、国内のボールルームダンスの普及並びに振興に寄与する。
- (2) 開催期日 平成25年6月8日(土)・9日(日)
- (3) 会場 日本武道館大ホール
- (4) 後援 文部科学省
- (5) 協賛 北辰商事(株)、チャコット(株)、モダン出版(株)、(株)タカ・ダンスファッション、サンスター(株)、(株)スタジオひまわり、(株)ボールプランニングイケダ、(株)コミンチャーモ
- (6) 参加者数 2,138人(1,069組)
- (7) 一般来場者数 約16,000人(2日間合計)
- (8) 内容 海外のトップ選手及び著名審査員を招聘し、プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、グランドシニア選手権、全日本シニア選手権、ジュニア競技会、ジュブナイル競技会を行った。
- (9) 特記事項 国内最高峰の競技会として、伝統と権威のある世界的な大会に定着している。

4 スーパージャパンカップダンス

全日本セグエ選手権大会・全日本選抜ダンス選手権大会

- (1) 目的 国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図ると共に、健全なる室内スポーツとしてわが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 開催期日 平成26年3月1日(土)・2日(日)
- (3) 会場 幕張イベントホール(幕張メッセ)
- (4) 後援 千葉県、千葉県教育委員会、千葉市
- (5) 協賛 チャコット(株)、(株)資生堂、モダン出版(株)、(株)タカ・ダンスファッション、サンスター(株)、(有)ケント、ボールプランニングイケダ、(株)千葉共立、(株)コミンチャーモ
- (6) 参加者数 2,582人(1,291組)
- (7) 一般来場者数 約8,500人(2日間合計)
- (8) 内容 全日本セグエ選手権(プロのみ)、全日本選抜ダンス選手権(プロ・アマ)、プロ・ライジングスター競技会、スーパーシニア競技会、グランドシニア選手権、全日本ジュニア選手権、全日本ジュブナイル選手権、車いすダンス東京グランプリを行った。
- (9) 特記事項 全日本セグエ選手権は通常の競技会とは異なり、ドラマチックで独創的なダンスで、見る側にとっても十分に楽しむことのできる大会である。

5 J B D F プロフェッショナルダンス選手権大会

全日本アマチュアダンス選手権大会

- (1) 目的 国内のトップクラスを交えチャンピオンを決定し、併せて健全なる室内スポーツとしてわが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 開催期日 平成25年9月28日(土)・29日(日)
- (3) 会場 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ(北海道)
- (4) 後援 文部科学省、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社、道新スポーツ、北海道プロダンスインストラクター協会、北海道ボールルームダンス経営者協会
- (5) 特別協賛 チャコット(株)、タカダンス栗林製靴店株式会社シューファクトリー・ブンゾー
- (6) 協賛 ダンスファッション・ワールド、(有)多美咲、(株)ジャンティ
- (7) 参加者数 1,406人(703組)
- (8) 一般来場者数 約3,500人(2日間合計)
- (9) 内容 プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、全日本グランドシニア選手権、シニア選手権、ジュニア競技会を行った。
- (10) 特記事項 昭和26年から行われた「全日本ダンス選手権」が名称変更して再スタートした最も歴史のある競技会であり、北海道総局と連携しながら実施した。また、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構と連携し、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ(toto)の助成を受け、ドーピング検査(プロ部門のみ)を実施した。

6 全日本10ダンス選手権大会

- (1) 目的 競技会を通してボールルームダンスの技術の向上とアスリート育成の推進及び、国内のボールルームダンスの普及並びに振興に寄与する。
- (2) 開催期日 平成25年10月6日(日)
- (3) 会場 静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)
- (4) 後援 文部科学省、静岡新聞社・静岡放送
- (5) 協賛 チャコット(株)、(株)タカ・ダンスファッション、ダンスファッション・ワールド、(株)雅、(有)多美咲、(株)スタジオひまわり、(株)千葉共立、(株)ステージループ
- (6) 参加者数 540人(270組)
- (7) 一般来場者数 約1,500人
- (8) 内容 スタンダード部門5種目・ラテンアメリカン部門5種目の計10種目で競われる10ダンスの他に、ジャパン・スタンダードトロフィー及びジャパン・ラテンアメリカントロフィーを行った。
- (9) 特記事項 中部総局静岡県支局と連携しながら実施した。

【収益事業等】

1 出版物の刊行・販売

- (1) 趣 旨 試験用の資料、会員が指導に必要な教本・教材の製作をする。
- (2) 対 象 会員及び、正式なボールルームダンスを学びたい不特定多数の一般の方。
- (3) 特記事項 本年度は、サマーセミナーのポピュラーバリエーション DVD (クイックステップ・サンバ編) みんな de ルンバ DVD 等を制作した。

【その他の事業（相互扶助等事業）】

1 海外で開催される競技会のチケットの販売に関する活動

<ブラックプール関連業務>

- (1) チケット申込 JBDF 選手および関係者のチケットを合計 173 枚手配し、選手に対しては全国プロ選手会を通じて、また、その他の関係者の方々には直接チケットを送付した。

なお、2013 年は最終的に席付のチケットが 11 枚キャンセルになったため、それらは事前に主催者側に返却し、その分のチケット代を返金してもらった。

- (2) 出場申込 2013 年は、プロ 77 組が出場の申込を行った。

<外国人招聘業務>

- (1) JBDF 総局からの依頼

JBDF 本部から 8 件の申請依頼を受け、就労に必要なビザを、それぞれ申請、取得した。25 件の依頼を受け、短期滞在に必要な書類を送付した。

- (2) JBDF 加盟団体 東部総局、広島県支局から 13 件の申請依頼を受け、就労に必要なビザをそれぞれ申請、取得した。43 件の依頼を受け、短期滞在に必要な書類を送付した。

TDG、加盟団体、その他から 53 件の申請依頼を受け、就労に必要なビザをそれぞれ申請、取得した。1 件の依頼を受け、短期滞在に必要な書類を送付した。

<ホームページ英語版の編集および管理>

- (1) JBDF4 大大会の予定、シラバス (日本インターのみ)、結果、ならびに海外主要競技会の予定をそれぞれ作成、掲載した (日本語版・英語版)。

- (2) 電子メールによる海外からの問い合わせを翻訳、対応した。

<その他>

- (1) 海外のイベントに係わる事務全般 — 海外の主要競技会の案内やシラバスの翻訳、関連通信、JBDF の広告掲載手続などを行った。

- (2) 情報収集 海外のダンス関連新聞、雑誌、ホームページに掲載されている重要案件を翻訳し、常務理事会、専務理事、運営委員長に報告した。

2 外国人招聘手続代行に関する活動

- (1) JBDF 総局からの依頼

JBDF 本部から 8 件の申請依頼を受け、就労に必要なビザを、それぞれ申請、取得した。25 件の依頼を受け、短期滞在に必要な書類を送付した。

(2) JBDF 加盟団体

東部総局、広島県支局から 13 件の申請依頼を受け、就労に必要なビザを、それぞれ申請、取得した。43 件の依頼を受け、短期滞在に必要な書類を送付した。TDG、加盟団体、その他から 53 件の申請依頼を受け、就労に必要なビザを、それぞれ申請、取得した。1 件の依頼を受け、短期滞在に必要な書類を送付した。

3 商業スポーツ施設インストラクター認定、講師・試験委員認定、採点管理者資格認定に関する活動

(1) 目的 一般の方に正しいボールルームダンスを広めるために、講習会及び認定試験によって指導者を養成・育成することを目的とする

(2) 参加対象 ①商業会員に商業スポーツ施設インストラクター 5～1 級の講習及び認定試験を行なう。
②正会員に講師 3 級～1 級・試験委員 3～1 級の講習及び試験を開催し認定する。
③会員に採点管理者資格 1 次又は 2 次の試験を開催し、資格を認定する。

(3) 特記事項 ①商業スポーツ施設インストラクター 5 級～1 級認定試験を全国 10 箇所にて開催し、延べ 137 名の受験者があり、125 名が合格した。合格率は 91.2%になる。
②講師・試験委員 3～1 級の認定試験を 7 箇所で行い 89 名を認定した。採点管理者認定試験を全国 6 箇所にて実施し、1 次試験 2 次試験合わせて 140 名受験し合格者 133 名で合格率 95.0%となった。

(4) 日程・開催地区・開催された級・受験者数・合格者数・実施会場・責任者は、別紙③及び別紙③-2 の表を参照。

《総局・支局等主要競技会》

※総局・支局等主要競技会

◎北海道総局

| | |
|-----------------------|-------------------|
| ※全道クラス別ダンス競技会 前期BD | 平成 25 年 2 月 24 日 |
| ※全道アマチュアダンス競技会 | 平成 25 年 3 月 24 日 |
| ※毎日杯・杉山杯争奪全道ダンス選手権大会 | 平成 25 年 4 月 21 日 |
| ※全道クラス別ダンス競技会空知大会 | 平成 25 年 5 月 19 日 |
| ※北海道インターナショナルダンス選手権大会 | 平成 25 年 6 月 14 日 |
| ※ドリーミーダンス競技会 AC級 | 平成 25 年 8 月 25 日 |
| ※道新スポーツ杯争奪北海道ダンス選手権大会 | 平成 25 年 10 月 20 日 |
| ※全道クラス別ダンス競技会 後期BD級 | 平成 25 年 11 月 17 日 |

◎東部総局

| | |
|------------------|-----------------------|
| ※東部日本選手権 | 平成 25 年 7 月 7 日 |
| ※東京ダンスグランプリ | 平成 25 年 9 月 15 日 |
| ※アマ東部日本選手権 Jr・Jv | 平成 25 年 9 月 22 日 |
| ※全関東ダンス選手権大会 | 平成 25 年 9 月 1 日 |
| ※スーパージャパンカップ | 平成 26 年 3 月 1/2 日(予定) |

◎中部総局

| | |
|-----------------------|------------------|
| ※前期中部日本ダンス選手権大会(岐阜) | 平成 25 年 3 月 17 日 |
| ※名古屋インターナショナルダンス選手権大会 | 平成 25 年 6 月 12 日 |
| ※後期中部日本ダンス選手権大会(石川) | 平成 25 年 9 月 1 日 |

◎西部総局

| | |
|--------------------------|---------------------|
| ※前期西部日本ダンス選手権大会 | 平成 25 年 4 月 21 日 |
| ※大阪インターナショナルダンス選手権大会 | 平成 25 年 6 月 15・16 日 |
| ※後期西部日本ダンス選手権大会 | 平成 25 年 10 月 13 日 |
| ※レアード杯争奪ダンス選手権大会 | 平成 25 年 11 月 10 日 |
| ※JBDF 西部総局主催アマチュアダンス競技大会 | 平成 25 年 11 月 24 日 |

◎九州総局

| | |
|------------------------|-------------------|
| ※全九州ダンス競技会 Jr, Jv 大分大会 | 平成 25 年 4 月 21 日 |
| ※九州インターナショナルダンス選手権 | 平成 25 年 6 月 19 日 |
| ※全九州ダンス競技会 熊本大会 | 平成 25 年 7 月 29 日 |
| ※全九州ダンス競技会 福岡大会 | 平成 25 年 9 月 15 日 |
| ※全九州ダンス競技会 山口大会 | 平成 25 年 10 月 27 日 |
| ※全九州ダンス競技会 北九州大会 | 平成 25 年 11 月 24 日 |

《協力競技会》

第13回プロフェッショナル統一全日本ダンス選手権大会

- (1) 開催期日 平成 25 年 11 月 3 日(日)
- (2) 場 所 グランドプリンスホテル新高輪「飛天」
- (3) 主 催 日本プロダンス協議会(JNCPD)

平成25年度
事業報告書
自 平成25年4月 1日
至 平成26年3月31日
(案)

公益財団法人 日本ボールルームダンス連盟